

学
報

スポーツ文化の風を発信する

NITTAIDAI

31

2012.Spring

日体大のステージ

巻頭 学長エッセイ「新装なった東京・世田谷キャンパスに想う」—— 1

平成24年度事業方針及び事業計画について—— 2

特集■日体大のステージ

「新、東京・世田谷キャンパスを知る108のスポット&キーワード」—— 3

オリンピック・メダリストを生み出してきた

日体大キャンパスの歩み—— 11

NEWS●2011年度下半期ニュース—— 13

クラブ情報●2011年度下半期クラブの主な大会成績—— 13

INFORMATION●dot.NITTAIDAI—— 15

日体大のステイジ

来年、創立120周年を迎える日体大。

ひと足早く、東京・世田谷キャンパス再開発第三期工事が竣工し、

日体大の新しいステージが姿を現した。

わが国の「体育・スポーツ」の拠点として、地域の核として、

開かれた大学を目指し、今後一層の改革を推進していく。

今年2012年夏はロンドン五輪開催の年。

さらに、2020年東京五輪招致活動も本格的にスタートした。

スポーツから、日本が、未来が動き出している。

新しいキャンパスから、

日体大、そして日本の次代をリードする若者が

巣立っていくことを期待してやまない。



学長エッセイ

新装なった東京・世田谷キャンパスに想う

平成19年2月に着工した東京・世田谷キャンパスの再開発は完了し、念願の「スポーツの殿堂」がここに竣工いたしました。体育大学のキャンパスには見えないとても素敵な建物です。自由を尊ぶスポーツの前庭に相応しい入口の中央に、本学の教育理念が体现されたブロンズ像（「チャンスの像」）は来校者を温かく迎えてくれます。トライゲッターやポイントゲッターを育てるよりもチャンスメーカーを育てることを校風としてきたことを象徴する像が陣取っています。その広場の右手にスポーツ棟が聳え、各種のスポーツ専用コートや道場が設けられています。トレーニング場も立派です。思わず身体を弾ませ舞ってみたくなる舞台が用意されているといってもよいでしょう。

新キャンパスは、また、知の殿堂でもあります。スポーツを通して躍動する身体美を彷彿とさせる像が至るところに配置され、練習や稽古で疲れた心身にひと時のくつろぎを与えてくれます。美術館に迷い込んだ気分になります。

本館棟には情報関連の機器が設置された教室、先進的な機器が備えられた実験室が設けられ、体育及びスポーツに関しては日本で最も充実している資料館であるとの評判の高い附属図書館が入っています。このように本館は知的雰囲気満喫できる空間となっています。

こうした新しい理念の下で設計されたキャンパスは我が国の体育及びスポーツの将来を担う人材養成の施設として大いに機能していくものと確信します。オリンピック・イヤーに竣工したキャンパスは日本の体育及びスポーツの未来を切り拓く場になるに違いありません。皆さんとともに大いに期待したいと思います。



日本体育大学
日本体育大学女子短期大学部

学長 谷釜了正
たに がま りょうしょう



平成24年度事業方針及び事業計画について

日本体育大学・日本体育大学女子短期大学部

1. 事業方針

平成23年6月24日にスポーツ基本法が成立、同日、法律第78号として公布され、同年8月24日に施行された。これに先立つ平成22年8月26日に文部科学省から今後のスポーツ政策の基本的方向性を示す「スポーツ立国戦略」が公表され、今後十年間で実施すべき五つの重点戦略が示されているところである。この戦略は本学がもとめつつけてきた全学挙げて取り組むべき課題でもあることから、社会や学生からの多様なニーズに積極的に対応しながら、大学としての社会的使命を果たすべく、大学改革の一環として取り組むものである。

人口減少社会に入り18歳人口が年々減少していることに加えて、体育系学部学科が新增設される状況下にあつて優秀な学生確保のための入試の改革は急務である。平成24年度入試で実施した一般入試B方式・推薦入試・リカレント入試などの検証を行い、平成25年度入試試験実施計画に反映させて本学のアドミSSIONポリシーに合った優秀な学生の安定的獲得を目指す。

大学を取り巻く社会環境の変化と本学が直面する諸問題を受け止めつつ、大学及び短期大学部の改革を進めるとともに、一層の情報公開に努める。特にホームページの充実と有効活用は、社会や学生の多様なニーズに対応するためにも必要である。そのために中長期的な全学的広報戦略を策定し、本学の持つ独自性、並びに教育研究による成果等を幅広く社会に発信する。日本体大スポーツの競技力の向上を図るとともに、日体大型の総合型地域スポーツクラブを発信するための検討を開始する。

平成19年2月にスタートした日本体育大学東京・世田谷キャンパス再開計画も平成24年4月に全ての工事が竣工する。竣工した教育研究棟及びスポーツ棟の有効活用を図るため、機能的かつ効率的な運用及び適切な管理を実行して、より質の高い研究の推進と教育環境の整備を図る。

教員面においては、大学の2009カリキュラムの完成年度を迎えるのを機に、「国による文教政策との整合性を図りつつ、改善策を講じ、2013年度から適用のカリキュラムを策定する。併せて当該カリキュラムの運用を円滑にすべく、事務組織を改善する。これを通して新カリキュラムが目指す「学力と就業力の醸成」に向けて対応すべく教育環境を整備し、学生生活における各種の啓発活動と合わせ、教養豊かで社会において即戦力となる人材の育成を図る。加えて現役学生だけでなく、卒業生の就職活動支援のさらなる充実に努める。

教職員のスキルアップを学生の教育と生活支援のために欠かすことのできない重要事項として捉え、FD、SDに積極的に取組む。また、学生の転・退学の実態を検証し、その防止策を検討・案出する。

学生の福利厚生面は、東京・世田谷地区の学生寮の建て替え工事の推進、食堂の改善を中心とした食育の啓発活動及び食環境の整備を図る。また、国の内外の交流を促進するための拠点としてゲストハウスを建設する。併設校との連携、とりわけ日体柔整専門学校との連携を強化する。

2. 事業計画

(1) 入試試験制度の改善

平成24年度入試試験の検証を行い、平成25年度入試試験実施計画に反映させ、本学のアドミSSIONポリシーにかなったより優秀な学生の獲得を目指す。また、平成24年度入試試験に導入した新しい入試制度のための広報媒体を開発して、広報活動に活用し、志願者増加に結び付ける。

(2) 東京世田谷キャンパス再開及び既存施設・設備の整備

平成24年4月に東京世田谷キャンパスの最終工事となるブル跡地の弓道場及び外構工事の竣工を迎える。ついでには、授業及び研究が展開されるキャンパス全体のランニングコストを注視し、教育研究活動に支障が無いよう有効な運用・管理を図る。また、東京・世田谷地区の学生寮の整備のマスタープランに則り、和泉校舎跡地にて女子寮の建築工事に着手する。内外のスポーツ交流等を積極的に促進するための拠点としてゲストハウスを建築する。

教育と研究を円滑に運用するために教室・実験室等の施設・設備、及び各種の運動施設の合理的活用を図るために当該施設を二元管理する。

(3) 就業力の向上

就業力の向上を図るため、「人間力」「体力」を向上させる。これを基に入学期後から卒業までの期間を通して継続的に就職支援プログラムを策定し、実施に移す。入学時点で学生が自分自身を理解し長所を伸ばして短所を補っていくよう教職員が協働して学生支援の体制を整えて行く。

(4) 大学改革の推進

大学の2009カリキュラムを検証し、2013年度スタートを目途にカリキュラムを改善する。また、学力と就業力の醸成に向けた対応についての教育環境を整備し、学生生活における各種の啓発活動と合わせて、教養豊かで社会において即戦力となる人材の育成を図る。併せて現役学生及び卒業生の就職活動支援のさらなる充実に努め、各界に優秀な人材を輩出する。

大学の改組は、2013年度にスタートするカリキュラムの完成を目途に行うものとし、検討に着手する。短期大学部の改組は早期の実現を目指して具体案を策定する。

大学院では、博士前期課程のカリキュラムを改め体育科学コースと体育実践学コースの2履修コースを設けて後者のコースに新たなコーチング学系とスポーツ教育・健康教育学系の2学系を開設したところであるが、1年目の検証を行う。

日体柔整専門学校との連携を推進し、学生が在学中に取得しうる新たな付加価値(柔道整復師)を付与する。

(5) 競技力向上と日体大独自の総合型地域スポーツクラブの組織化

大学の政策としてスポーツ局のより一層の強化策を立案し、新たに日体大独自の「総合型地域スポーツクラブ」の組織化を図る。

(6) 学生の学業及び生活の支援の充実

学生生活支援センターが附置機関として組織の改編を図ることに伴い、入学から卒業までの学生のキャンパスライフを支援する教職協働の体制を確立する。

学生の転・退学の実態を把握・検証し、防止策を福利厚生生の観点から講じて学生の学業及び日常生活の支援を充実させる。

学生の食生活を改善するため学生食堂及び学生寮の食事の改善を図り、併せて大学内における学生休息のための場所を確保し、学生の福利厚生面の充実を図る。また、学生相談の増加及び相談内容の多様化に対応するため学

生相談室の体制を充実させ、広報活動を通して周知を図り、学生生活を支援する。併せて、学生に対する防犯及び薬物乱用防止等に関する各種の啓発活動や自転車・バイクの交通ルール講習会等を積極的に推進し、健全な学生の育成と学生生活の安全を確保する。

東日本大震災を教訓とし、関東で大震災が発生した場合に備え、対応マニュアルを作成し、学生・教職員に配付して防災への意識を高める。

(7) 全学的広報戦略

学生募集に繋がる広報戦略として、学内外におけるコミュニケーションの活性化を図り、本学の持つ独自性並びに教育研究による成果等を幅広く社会に発信する。

また、一般入試の実技試験説明DVDのリニューアルを行う。完成した東京・世田谷キャンパス再開の広報活動を実施する。

(8) 健康管理対策の充実

学生及び教職員の健康管理(健康診断、事後指導、健康相談等)について、産業医、相談医、保健師等との連携を図りながら更なる強化に努める。特に学生の健康管理において放射性物質等の環境問題を配慮しながら更なる改善を図り、また、教職員の心身の問題に対する措置、健康診断の事後措置等の強化を図る。さらに健康管理システムを改良し健康管理業務の充実を図る。学生アスリートのメディカルサポートを目的としたスポーツクリニックの設立を目指して具体的な検討に着手する。

(9) 教育研究の推進

総合スポーツ科学研究推進センターを軸に本学の研究活動を推進・支援し、その質の向上に努める。大学院研究科と連携を持ち、研究者の研究成果の発表の場をより広げるため、新たな学術雑誌を刊行して研究成果を内外に発信する。また、外部資金獲得のサポート体制を構築し機能的・効率的な研究を推進する。また、教員の研究活動を円滑に推進するため、研究組織を改善する。

また、教育と研究の積極的推進の一環として大学内に出版局を設けるための検討を開始する。

(10) 教育情報の公開

大学が公的な教育機関として、社会に対する説明責任を果たすとともに、その教育の質を向上させる観点から、省令に則り大学の教育研究情報を公開するため、ホームページの運用効率を高めるとともに、各種の刊行物を整理して学内外への広報活動の一層の充実を図る。

(11) FD、SDへの積極的取り組み

教職員のスキルアップのため、FD及びSDを重要事項として捉え、積極的に取り組む。授業評価については、新学務システムを活用して実施できるように検討する。

(12) 同窓会、保護者会との連携を図る

同窓会、保護者会と大学が一体となつて県人会等を組織し、学生の教育と就職活動に資するべく便宜を図る。



新東京・世田谷キャンパスを知る

108

のスポット&キーワード

開放感あふれる正門のアプローチ。
機能性に優れた各施設。

新時代の「スポーツ発信基地」にふさわしい
東京・世田谷キャンパスの全貌が、今ここで明らかに！
これをチェックすれば、オリンピックで108個のメダル
(日本の総数の4分の1)を獲得してきた
日体大の秘密もナットクできるはずです。

今号では、キャンパス内の役立つ
スポット&アミニティを「108」厳選して紹介します。

いつもの教室、クラブ・サークル活動の施設だけでは
もったいない。
さあ、キャンパス探検に出発！

テレビのロケにも使われる
新キャンパス



1* 開かれた日体大を象徴する正門広場。
学生、地域の方々の憩いの場



2* 日体大スピリットのシンボル。
「ポイントゲッターになるよりも
チャンスメーカーになれ」という
教えが込められている

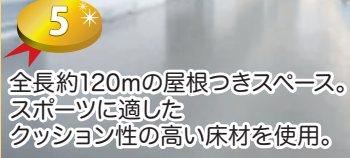


3* メダリストや入賞者を掲示。
キミの名前もここに！



4* 旧体育館から受け継がれた
外壁レリーフ

安全、快適、美しさを
徹底的に追求しているのだ！



5* 全長約120mの屋根つきスペース。
スポーツに適した
クッション性の高い床材を使用。

- 教育研究棟
- 6F / 大学・法人事務局
 - 5F / 研究室、会議室
 - 4F / 研究室、セミナールーム
 - 3F / 教室
 - 2F / 教室 図書館
 - 1F / エントランスホール、学生支援センター、みずほ銀行ATM、学生食堂、サポートデスク、店舗(ローソン、三省堂、ササキスポーツ)
 - GF / 記念講堂、ロッカー、健康管理センター、クラブハウス、更衣室、シャワー室
 - BF / 記念講堂、研究室・実験室

正面広場

- グラウンド
- スポーツ棟
- 3F / 準備室、部室、小体育館(フェンシング、ランニング走路)
 - 2F / メインアリーナ、小体育館(トランポリン、ボクシング)
 - 1F / トレーニングセンター、小体育館(レスリング、ダンス、空手、合気道、なぎなた、少林寺拳法、卓球)
 - GF / 小体育館(相撲)
 - BF / 中体育館(剣道、柔道、体操)、プール



2011年 第45回
日体フェスティバル
Mr.Msコンテスト
優勝

ナビゲーターの三人が
東京・世田谷キャンパスを
隅から隅まで探検します！

山木 陵平 (やまき りょうへい)
体育学科2年

- ・クラブ/ボクシング部
- ・キャンパスのお気に入り/学食
- ・オススメは唐揚げ丼。
- ・新入生へのエール/「勉強も部活も両立して頑張っ！」
- ・性格/シャイで静かに燃える男
- ・趣味/散歩

池田 祐愛 (いけだ さちえ)
体育学科2年

- ・クラブ/硬式テニス部
- ・キャンパスのお気に入り/図書館
- ・落ち着いた雰囲気が好き。
- ・新入生へのエール/「今できることを全力でやろう！」
- ・性格/ムードメーカー
- ・趣味/音楽鑑賞(洋楽)

スポーツ棟

メインアリーナ

6*

ロゴ入り壁

壁の「N」マークにもこだわりの。

人工芝

7*

東京ドーム、福岡ドームと同じロングパイル人工芝を導入。各種競技のラインも塗装されている。

ブルータータン

8*

100m走路は目に優しいブルータータンを採用。

1F

さらにスペース拡大！
深沢を代表する
スタジアムに

9*

総面積286.9635㎡のメインアリーナ。通常はスペースを区切り、バスケット・バレーボールコートとして使用されている。今後、対外的なスポーツイベント等にも開放される計画。

中体育館1（剣道）

中体育館2（柔道）

中体育館3（体操）

10*

特に「杉」材を使用しているから素足の練習も安心

11*

広さは290畳あり、公式の試合場が3面とれる

12*

おもに徒手体操で使用。マットレスなどの器具も完備

多目的プール

13*

短水路25m×7レーン。北島選手や中村選手に続け！

15*

ちゃんこは自分たちで。歴代の調理長の名札も

キッチン

GF

ふだんはなかなか見ることが
できないエリアに潜入

14*

土俵は3面。激しい稽古も冷暖房完備だから快適。ここから学生横綱、プロ力士も誕生している。

水治療室

16*

腰痛、膝痛などに効果がある負担の少ないリハビリ

静脈センサー

ワンタッチで入退館を管理。
利用時間も記録される。

18*

ロゴ入り重り



19*

緑10kg、黄15kg、青20kg、25赤kg。
目指せ五輪！

AT実習室（トレーニングセンター内）



20*



1F
いろいろな
トレーニング器具が
あるのが嬉しいですよ
(池田さん)



17*

ストレッチングマシントレーニングなど、
さまざまなメニューが可能。
マシン・ウエイトの年間利用者は延べ5万人。
部ごとの月間利用ランキングも発表されている。

スポーツには
気合が大事
なのダ



小体育館5（合気道）



22*

凛とした雰囲気にも包まれている練習場。
なぎなた同好会、合気道、空手、少林寺が活動。あなたも挑戦しては！

小体育館4（なぎなた）



21*



小体育館7（少林寺拳法）



24*

1F
やりたいスポーツを
とことん追求できる！

小体育館6（空手）



23*

小体育館8（卓球）



26*

卓球のスピード感がここでは見られる

広報スペース（仮称）



28*

日体大の魅力を伝える場所に変貌。
乞うご期待！ ※写真はイメージ画像です。

小体育館2（レスリング）



27*

授業で使用するレスリング場。
壁にはシンボルのライオンが

小体育館3（ダンス）



25*

2重窓で遮音性抜群。
音楽もダンスも存分に楽しめる。

スポーツ棟

2F

小体育館10 (ボクシング)

一撃入魂！
ボクが練習している
ボクシングリングも
(山本くん)



31*

ボクシング部専用練習場。
初心者大歓迎！

ラウンジ



29*

ミーティングに最適。
白熱した作戦タイムもここで。

小体育館9 (トランポリン)



30*

天井の高さはなんと10m。
思いっきりジャンプ！

3F

アスリートとこのことを
本気で考えた空間が嬉しい！

ベランダ



33*

練習の汗や疲れを癒してくれる
スペース。元気復活！

ランニング"姿"に
憧れちゃいます

ランニング走路



34*

1周約240m。館内の歓声を聞きながら
黙々と走る

小体育館11 (フェンシング)



32*

実は精密な器具が揃っている
興味津々の練習場

AED



35*

スポーツ棟・教育研究棟合わせて、
学内に20ヶ所設置。
ぜひAED講習を受講しよう！

頼りになる
日体生に
なろう！

ピクトグラム



38*

各体育館の入り口には
ユニークな絵文字がある。

製氷機



37*

アイシングの製氷機は、
スポーツ棟B階～2階
教育研究棟G階に設置

必須アメニティも
チェック！

トイレ



36*

節電、節水などマナーを守って利用しよう！



いつも授業に駆け込んでいる人も(?), 教育研究棟をじっくりチェックしてみましょう。

晴れた日には東京スカイツリーまで見えるという6階からの眺望、

一方BF階、GF階ではなかなか見ることができない実験機器・実習室も。まさに都市型・高度情報型キャンパス!



学生支援センター キャリア支援部門



証明書自動発行機バビルスミット



仲間と楽しく! 「便利」「おいしい」「安い」が揃ったアメニティゾーン





練習場所に早変わり

BF
アカデミックな雰囲気
の記念講堂、
高度な研究・実験室が
集結



環境を制御し、さまざまな条件下でトレーニングが可能



中央にはタータン、周囲にはキャットウォークが配置され様々なバイオメカニクスの測定が可能。

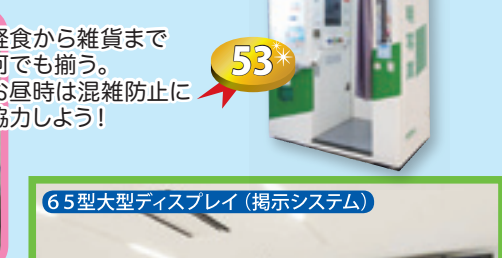


実験用小動物(マウス・ラット)が飼育可能。

先端研究の
秘密基地を
チェック



600名以上収容可能。学内行事や講演、地域イベントなど、多目的に利用できる。油圧による自動装置で、イスやデスクの撤収もスムーズ。



渋谷に行かなくても欲しいものが揃っちゃう!

63*

64*

68*

69*

医療機関のものと
同じ本格的なMRI装置

57*

防災対策も万全。
セキュリティの要。

56*

55*

オープンキャンパスなどのイベントや
壮行会などに利用されることも

52*

60*

一部を除き、ほとんどの
商品が10%オフ!

58*

軽食から雑貨まで
何でも揃う。
お昼時は混雑防止に
協力しよう!

53*

61*

設置場所は
エントランスホール。
無駄遣いに注意!

59*

スポーツ専門用品、
日体大グッズならココ!

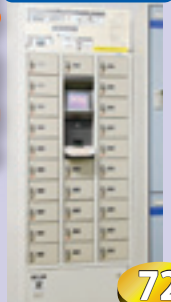
54*

日体男子は
意外とマメで
キレイ好き！



GF
クラブ活動や
健康管理をサポート
福祉・身体について
学べる施設も

ロッカー指紋認証



72*

貴重品ボックスが
設置されていて
セキュリティも万全

ロッカールーム



71*

男子720個、女子710個を完備。
登録すれば利用できる

クラブハウス



70*

部室も寮も整理整頓が
スポーツマンの第一歩

今日は
どの本を
読もうかなあ



学生証改札機



82*

利用は学生証で。また開架棚は
電動式で操作され、
閲覧しやすいよう工夫されている。

電動棚



83*

図書館



81*

アジア随一の体育・スポーツ関連図書、
データベースを誇る。蔵書数は37万刷。
授業期間中は22時まで利用可能。

スポーツを知る、
情報に強くなる、
学ぶ楽しさを実感しよう！

DVD コーナー



86*

スポーツから文化・教養まで、
映像資料を視聴できる



2階閲覧室



85*

席数は353。教職を目指す学生の中にはお気に入りの“指定席”があるとか。

閲覧室



84*

教室3205



90*

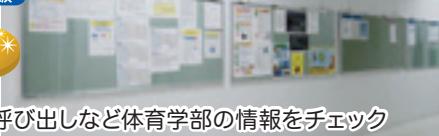
教室3201



89*

大小、用途に合わせた教室。
大教室でも先生はしっかりチェックしている！

学部掲示版



91*

授業変更、呼び出しなど体育学部の情報をチェック

やっぱり
最前列が
特等席ですっ

保育演習室



88*

コンピュータ教室



87*

最新機器を完備
(48台+教員用2台)
スポーツにもITスキルが不可欠。

遊具が揃った
幼児教育保育科の専用演習室

健康管理センター

介護実習室



77* 病院や介護施設と同じ本格的な施設を完備

76* 看護師が常駐。病気・ケガはすぐに健康管理センターへ。

実験室 3G01



80* 用途に合わせた実験室。スポーツ科学も勉強！

実験室 3G02



79*

福祉実習室



78*

リフト付きの入浴装置で
介助実習ができる

シャワールーム



74* 男女とも同時に20名が利用可能。
練習の汗もスッキリ

洗濯機



75*

大量のユニフォームも
しっかりきれいに
15ℓの大型洗濯機。

助教・助手研究室



101*

研究室



100*

先生方の研究室は4階。質問や相談がある時は、
気軽に訪れてみよう。

セミナールーム

学会の会合や
カンファレンスなど。
やはり日体大の
先生方はすごい！

先生方の
素顔も
ちょっと拝見

102*

ラウンジ



103*

6階からの眺め



108* 晴れた日には東京スカイツリー、東京タワー、
富士山が一望できる。まさに表彰台に立った気分！

眼下には
駒沢オリンピック公園も。
環境に優しいキャンパスで
目指せメダル獲得！

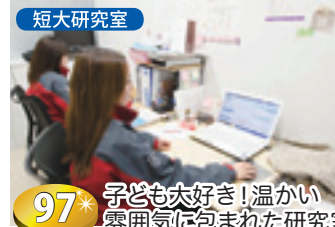
大学院自習室



96*

スポーツ科学を担う
熱い大学院生達の自習室

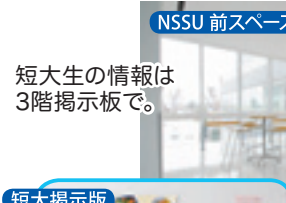
短大研究室



97*

子ども大好き！温かい
雰囲気は包まれた研究室

NSSU 前スペース



短大生の情報は
3階掲示板で。

短大掲示板



99*

マナーや音楽、調理など
ユニークな実習教室が勢ぞろい

作法室



92*

華道・茶道・礼法などで
使用する32畳の和室

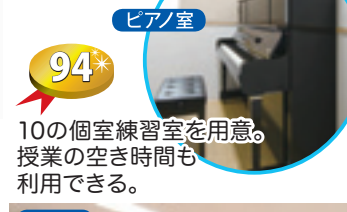
調理実習室



93*

短大生が主に使用。
スポーツに
最適な料理が！？

ピアノ室



94*

10の個室練習室を用意。
授業の空き時間も
利用できる。

音楽室



95*

日体大にも
音楽の授業もあるのは驚き！？

中会議室



105*

各事務室 法人・大学事務局



107*

大会議室



104*

学長室



106*

管理部門の中枢。日本体育大学の設置法人もここにある



1964年東京五輪
(花原勉、レスリングG.フライ級 金メダル)



第2回体育研究発表実演会
(1955年9月18日、田園コロシアムで開催)



正門から日体大 (1955年頃の東京・世田谷キャンパス)

オリンピック・メダリストを生み出してきた 日体大キャンパスの歩み

日体大の歩みは、スポーツ、そしてオリンピックの歴史そのもの。メダリスト、スポーツ界をリードするアスリート、指導者たちが、キャンパスで学び、練習に汗を流してきました。いま、グローバル化、少子高齢化、エコ、情報化の流れを受けて、スポーツを取り巻く環境が大きく変化しています。まさに、こうした時代の要請に応えて誕生したのが、新しい東京・世田谷キャンパスです。日体大スピリットを守りつつ、新施設を積極的に活用し、スポーツで社会に貢献する人材に育って欲しいと思います。

(年表) 日体大キャンパスの変遷とオリンピックでの活躍 (メダル・入賞数は本学関係者)

1891年(明治24年)	8月	日高藤吉郎、東京市牛込区に体育会を創立
1892年(明治25年)	6月	体育会を「日本体育会」に改称
1893年(明治26年)	3月	日本体育会体操練習所を東京市麹町区飯田町4丁目に設置
1900年(明治33年)	4月	同所にて授業を開始
	4月	体操練習所及び模範体操場が麹町区飯田町1丁目字牛が淵に完成し、移転
1904年(明治37年)	9月	体操練習所を日本体育会体操学校と改称、文部大臣の監督を受ける各種学校となる
1906年(明治39年)	4月	日本体育会及び体操学校男子部を東京府荏原郡大井村の新築校舎へ移転
1926年(大正15年)	4月	校歌を制定(鳥居忱作詞、石橋蔵五郎作曲)
	4月	日体独自の応援スタイル「エッサッサ」完成(考案者：平井二)
1937年(昭和12年)	12月	●第9回(1928年) アムステルダム大会(入賞数Ⅱ1)
1941年(昭和16年)	4月	●第10回(1932年) ロサンゼルス大会(入賞数Ⅱ2)
1946年(昭和21年)	4月	日本体育会及び体操学校男子部を深沢(現在地)に移転
1949年(昭和24年)	4月	日本体育専門学校(体操学校から昇格)開校
1951年(昭和26年)	3月	日本体育専門学校が土浦海軍航空隊跡地に移転、入学式を行う
	3月	日本体育大学体育学部体育学科を開校
1953年(昭和28年)	4月	日本体育大学が土浦から深沢へ全面復帰
1954年(昭和29年)	9月	●第15回(1952年) ヘルシンキ大会(メダル数Ⅲ3・入賞数Ⅲ3)
		日本体育大学女子短期大学体育科開設
		第1回体育研究発表実演会を東京都体育館で開催



深沢屋内プールの落成式 (1984年9月14日)



2008年北京五輪(報告会)



2000年シドニー五輪(壮行会)



1992年バルセロナ五輪(日体大出場選手25名)



1976年モントリオール五輪（塚原光男、鉄棒、金メダル）



横浜・健志台グラウンド航空写真（1971年8月、第2期工事完成の頃）



トレーニングセンター内部（1965年完成）

2009年（平成21年）	2007年（平成19年）	2006年（平成18年）	2005年（平成17年）	2004年（平成16年）	2002年（平成14年）	1998年（平成10年）	1996年（平成8年）	1981年（昭和56年）	1975年（昭和50年）	1971年（昭和46年）	1968年（昭和43年）	1967年（昭和42年）	1965年（昭和40年）	1963年（昭和38年）	1962年（昭和37年）
9月	2月	4月	3月	9月	1月	4月	4月	1月	4月	8月	9月	9月	4月	4月	4月
東京・世田谷キャンパス再開発、第2期工事竣工	東京・世田谷キャンパス再開発、第1期工事竣工	日本体育大学女子短期大学部に専攻科保育専攻を開設	横浜・健志台キャンパス、陸上競技場改修（フルトラック）	東京・世田谷キャンパス、深沢校舎グラウンド改修（人工芝）	東京・世田谷キャンパス、深沢校舎グラウンド改修（人工芝）	SCIENCE UNIVERSITYに変更	大学の英文表記を「NIPPON SPORT SCIENCE UNIVERSITY」に変更	「日本（にほん）体育大学から「日本（にっぽん）体育大学へ呼称変更	日本体育大学大学院体育学部社会体育学科を開設	日本体育大学健志台グラウンド開きを行う	健志台起工式を行う	日本体育大学、第1回学園祭を開催	日本体育大学体育学部武道学科を開設	日本体育大学女子短期大学保育科を開設	日本体育大学体育学部健康学科を開設
●第29回（2008年）北京大会（メダル数12・入賞数14）	●第28回（2004年）アテネ大会（メダル数11・入賞数7）	●第27回（2000年）シドニー大会（メダル数4・入賞数3）	●第26回（1996年）アトランタ大会（メダル数4・入賞数5）	●第25回（1992年）バルセロナ大会（メダル数6・入賞数9）	●第24回（1988年）ソウル大会（メダル数4・入賞数6）	●第23回（1984年）ロサンゼルス大会（メダル数17・入賞数14）	●第22回（1980年）モントリオール大会（メダル数10・入賞数8）	●第21回（1976年）モントリオール大会（メダル数10・入賞数8）	●第20回（1972年）ミュンヘン大会（メダル数9・入賞数6）	●第19回（1968年）メキシコ大会（メダル数5・入賞数12）	●第18回（1964年）東京大会（メダル数10・入賞数10）	●第17回（1960年）ローマ大会（メダル数6・入賞数12）	●第16回（1956年）メルボルン大会（メダル数7・入賞数6）	●第15回（1952年）ストックホルム大会（メダル数6・入賞数5）	●第14回（1948年）ロンドン大会（メダル数5・入賞数4）



改装前の東京・世田谷キャンパス（正門・体育館）今は懐かしい風景



2008年北京五輪（中瀬卓也、沖口誠、内村航平 体操男子団体、銀メダル）

TOPICS

平成23年度卒業生・修了生 おめでとうございます。

平成24年3月10日(土)横浜・健志台キャンパスにて卒業式及び学位記授与式が挙行されました。平成23年度の卒業生及び修了生の人数は以下の通りです。今後のご活躍をお祈りいたします。

設置	体育学部				専攻科	大学院	
	体育学科	健康学科	武道学科	社会体育学科	体育専攻	博士前期課程	博士後期課程
大学	801	163	99	167	10	23	4

	体育科	幼児教育保育科	専攻科保育専攻
短大	137	44	27



TOPICS

平成23年度 東日本大震災復興プロジェクト活動報告会が開催されました。

平成24年3月1日(木)東京・世田谷キャンパス記念講堂にて、東日本大震災復興プロジェクト主催シンポジウム～日体大のできること、なさねばならぬこと～とし、東日本大震災復興プロジェクト活動報告会が開催されました。

日本体育大学では東日本大震災発生後、「東日本大震災復興プロジェクト」を立ち上げ教職員、学生、被災地の方々と連携を取りながら復興支援活動を進めて参りました。

震災から1年が経った今、これまでの活動を振り返るとともに、今後、日本体育大学が被災地に対しどのような支援が出来るのかを教職員、学生、一般参加者の皆様と活発な意見交換を行いました。

TOPICS

3/4(日)TBSテレビ「さんまのスーパーからくりTV」で本学が紹介されました。

平成24年3月4日(日)にTBSテレビ『さんまのからくりTV 最強アスリート軍団とご対面!さんま日体大に一日体入学』で本学が紹介されました。

今年はオリンピックイヤーという事で、からくりTVレギュラー陣が色々なスポーツを体験して、本学の学生や教員と一緒に体を動かしました。

約2時間、部活動の紹介やロンドンオリンピックについて放送されオープニングでは、多くの学生が集まり盛り上げてくれました。

本学の学生、教員が多く出演し、日体大を身近に感じていただける内容でした。

TOPICS

全日本優勝・全日本学生優勝(個人・団体)23団体に!

平成24年2月24日(金)17時より横浜・健志台キャンパスにて「平成23年度学友会祝勝会」が開催されました。

この会は、今年度学友会クラブ活動において「全日本総合選手権」および「全日本学生選手権」もしくはそれと同等にあたる大会において優勝をおさめたクラブの栄誉を祝して開催されるものであり、今年度は優勝を果たした23団体のうち16団体286名(学生258、指導者28名)の日体大を代表する選手・指導者が集まり盛大に行われました。

祝勝会は、藤本学友会副会長の挨拶から始まり、谷釜学長からの選手たちへの健闘を称えられ、大内運動部統括部長の乾杯で立食形式での会食ではじめられました。

会場は、多くの選手たちが互いの成果を称えあい、終始和やかなムードの中進められ、優勝をおさめた各クラブの選手の紹介やメッセージなどが披露されました。

最後は応援部によるセレモニーやエールが参加者に送られ幕を閉じました。

来年度も本学学友会から多くの優勝クラブが多く輩出されるようお祈りしています!



平成23年度[下半期クラブの主な大会成績]

学生生活課調べ 1月～2月
情報は新聞各紙(日体大スポーツ含む)・インターネットからの抜粋

クラブ名	大会名	性別	種目	順位	氏名
■アーチェリー	2012年度関東学生アーチェリー個人選手権大会	男子		優勝	坂野 太一(4年)
		男子		2位	金子 令(2年)
■ウエイトリフティング	第57回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会	男子	77kg級	2位	辻 誠人(3年)
		男子	+105kg級	2位	鈴木 匠平(4年)
		女子	69kg級	3位	石関 紗愛(1年)
		女子	75kg級	3位	柳川 夏子(2年)
■サッカー	第20回全日本大学女子サッカー選手権大会	男子		優勝	
■水泳(競泳)	第53回日本選手権(2.5m)水泳競技大会	男子	200m背泳ぎ	2位	山崎 貴大(1年)
			100m自由形	2位	松本 弥生(4年)
			200m自由形	2位	松本 弥生(4年)
			200m平泳ぎ	2位	高橋 美帆(1年)
			50mバタフライ	3位	津下 尚子(3年)
			400m個人メドレー	優勝	高橋 美帆(1年)
■スケート	第84回日本学生氷上競技選手権大会スピード部門	女子		総合2位	
			2×500m	優勝	清水 玲香(4年)
			3000m	2位	阿部 真衣(2年)
				3位	藤村 あゆみ(4年)
			1000m	優勝	清水 玲香(4年)
			1500m	2位	藤村 あゆみ(4年)
			200mリレー	2位	西端 瞳(1年) 川口 愛莉(1年)
					藤村 あゆみ(4年) 清水 玲香(4年)
					藤村 あゆみ(4年) 阿部 真衣(2年)
			チームバシュート	2位	藤村 あゆみ(4年)
					川口 愛莉(1年)
	2011/2012ジャパンカップスピードスケート競技大会第4戦			優勝	渡部 知也(2年)
	2011/2012ジャパンカップスピードスケート競技大会第5戦			優勝	渡部 知也(2年)
■フェンシング	2011年度エペジュニア強化選手選考会兼2012年世界ジュニア選手権大会選考会	女子		優勝	堀川 こと恵(1年)
	第19回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会	女子		優勝	堀川 こと恵(1年)
■ラクロス	2011年度新人戦ウィンターステージ(関東学生フレッシュマントーナメント)	男子		3位	
■レスリング	天皇杯全日本選手権	男子	グレコローマン55kg級	2位	田野倉 翔太(3年)
		男子	グレコローマン66kg級	3位	富塚 拓也(4年)
		男子	フリースタイル66kg級	3位	井上 貴尋(3年)
■ハンドボール	第63回全日本総合ハンドボール選手権大会	男子		ベスト4	
■ダブルダッチサークル	Japan Open FINAL		シングルス	2位	Eager-Beaver
			ダブルス	優勝	Eager-Beaver
				3位	zipcode



TOPICS

平成23年度 退職者紹介

渡邊 功 (わたなべ いさお)

昭和40年に早稲田大学卒業後、住友軽金属工業(株)、(株)成城テニスクラブ取締役社長を経て、平成16年に任期制教授、平成19年に教授に就任。NPOグローバルスポーツアライアンス理事、横浜市スポーツ専門委員、日本プロテニス協会理事、東京都私立中等学校テニス連盟副会長、吉田記念テニスセンター理事、デビスカップ日本代表チームコーチ(S46-S48)、世界テニス連盟公認レフェリー(S48-S62)を歴任。平成24年3月定年退職。

高田 良平 (たかだ りょうへい)

昭和42年に本学を卒業後、本学助手、講師、助教授を経て、平成18年に教授。図書館長、寮監長ほか、学外研修選考委員会、学内行事委員会、保健委員会、紀要委員会等を経て。日本体育学会をはじめ、日本スケートフォークダンス協会常任理事・同会長、東京スケートフォークダンス協会会長、日本フォークダンス連盟専門委員、大学スケート研究会理事 日本フォークダンス連盟理事等で活動。平成24年3月定年退職。

瀧澤 康二 (たきざわ こうじ)

昭和40年に本学を卒業後、ドイツ体育大学ケルンへ留学、昭和47年卒業。本学助手、講師、助教授を経て、昭和52年に教授。体育学部長、体育科学研究科科長、副学長等を歴任。日本体育学会評議員、国際スポーツ哲学学会、日本スポーツ教育学会、日本オリンピックアカデミー理事、日本体操協会常務理事・専務理事・特別顧問、国際体操連盟名誉委員・理事・副会長、日本オリンピック委員会評議員、全日本学生体操連盟会長、日本アンチ・ドーピング機構評議員等で活動。日本体操協会功労賞、監製褒章。平成24年3月定年退職。

菅原 勲 (すがわら いさお)

昭和42年に本学を卒業後、本学助手、講師、助教授を経て、平成11年に教授。女子短期大学部体育科長、寮監等を歴任。日本体育学会、日本体育医学学会、日本スポーツ心理学会、日本陸上競技連盟(各会委員長等)、国際協力機構海外青年協力隊陸上競技技術委員、関東学生陸上競技連盟評議員、日本学生陸上競技連合正会員、大学基準協会短期大学認証評価分科会委員で活動。関東学生陸上競技連盟指導者功労賞、日本学生陸上競技連合功労賞、日本陸上競技連盟秩父宮賞。平成24年3月定年退職。

大内 哲彦 (おおうち てつひこ)

昭和41年に本学卒業後、東京大学教育学部研究生、本学助手、女子短期大学部講師、助教授を経て、平成4年に教授。体育学科長、教務部次長、海外学術・スポーツ交流委員会委員長、野外実習委員会委員長、施設財務委員会、入学試験検討委員会、研究活動推進委員会等を歴任。日本体育学会評議員・理事、日本スポーツ方法学会、日本体育医学学会、日本運動・スポーツ科学学会理事、日本安全教育学会、日本生涯スポーツ学会、日本体育測定評価学会理事・副会長等で活動。平成24年3月定年退職。

清水 義明 (しみず よしあき)

昭和41年に本学を卒業後、本学助手、講師、助教授を経て、昭和63年に教授。学生部長、スポーツ局長、学生委員会委員長、広報委員会、スポーツ局運営委員会、入学試験検討委員会等を歴任。日本体育学会、日本スポーツ方法学会、日本学生バスケットボール連盟選手強化委員長・理事・理事長・会長、日本体育協会トレーニングドクター・ジュニア強化コーチ・主任強化コーチ、日本バスケットボール協会ナショナルチーム監督・選手強化部強化委員、JOCユニバーシアード委員会委員等で活動。平成24年3月定年退職。

柴田 紘三郎 (しばた こうざぶろう)

昭和41年に本学を卒業後、警視庁警務部教養課兼警視庁第三機動隊、本学助手、講師、助教授を経て、平成23年に教授。健志台台合宿寮寮監、研究費等補助金調整委員会、学外研修選考委員会、規程委員会、スポーツトレーニングセンター運営委員会、研究所運営委員会、学内行事委員会、施設委員会等を歴任。日本体育学会、日本整形外科スポーツ医学会、日本武道学会、グリーンクラブラグビースクール顧問等で活動。平成24年3月定年退職。

TOPICS

平成24年度 新採用教員紹介

- ① [所属：職名]
- ② 所属学科
- ③ 研究室
- ④ 最終学歴
- ⑤ 学位



堀尾 哲也
(ほりお てつや)
① [大学：准教授]
② 教養・教職科
③ 自然科学
④ 京都大学大学院
理学研究科生物物理学
専攻博士課程修了
⑤ 博士 (理学博士)



野井 真吾
(のい しんご)
① [大学：准教授]
② 健康学科
③ 健康管理学
④ 日本体育大学大学院
体育科学研究科博士
後期課程修了
⑤ 博士 (体育科学)



齋藤 雅英
(さいとう まさひで)
① [大学：准教授]
② 教養・教職科
③ 教職教育Ⅱ
④ 日本大学大学院
文学研究科心理学専攻
博士後期課程単位取得
満期退学
⑤ 修士 (心理学)



矢野 晴之介
(やの せいのか)
① [大学：助教]
② 体育学科
③ 運動方法 (サッカー)
④ 筑波大学大学院
修士課程体育研究科
スポーツ健康システム・
マネジメント専攻修了
⑤ 修士 (体育学)



森井 大治
(もりい だいち)
① [大学：准教授]
② 体育学科
③ 運動方法
(テニス・ソフトテニス)
④ 筑波大学大学院
修士課程体育研究科
コーチ学専攻修了
⑤ 修士 (体育学)



仲間 若菜
(なかま わかな)
① [大学：助教]
② 武道学科
③ 運動方法 (ダンス)
④ 沖縄県立芸術大学
大学院音楽芸術研究科
舞台芸術専攻琉球舞踊
組踊専攻修了
⑤ 修士 (芸術)

TOPICS

平成24年度 入学試験結果

平成24年3月19日現在
アドミッションセンター

■大学／体育学部

区 分		志願者数	受験者数	合格者数	倍率
体育学科	A O	433 (155)	428 (154)	185 (69)	2.31
	推薦	433 (126)	433 (126)	401 (119)	1.08
	一般	1526 (355)	1502 (349)	388 (90)	3.87
	学科計	2392 (636)	2363 (629)	974 (278)	2.43
健康学科	A O	43 (35)	43 (35)	23 (18)	1.87
	推薦	36 (24)	36 (24)	31 (20)	1.16
	一般	539 (177)	525 (172)	233 (77)	2.25
	学科計	618 (236)	604 (231)	287 (115)	2.10
武道学科	A O	97 (18)	97 (18)	79 (16)	1.23
	推薦	44 (8)	44 (8)	42 (8)	1.05
	一般	66 (13)	64 (12)	33 (5)	1.94
	学科計	207 (39)	205 (38)	154 (29)	1.33
社会体育学科	A O	98 (37)	98 (37)	24 (14)	4.08
	推薦	33 (5)	33 (5)	31 (4)	1.06
	一般	719 (168)	713 (165)	283 (64)	2.52
	学科計	850 (210)	844 (207)	338 (82)	2.50
合 計	A O	671 (245)	666 (244)	311 (117)	2.14
	推薦	546 (163)	546 (163)	505 (151)	1.08
	一般	2850 (713)	2804 (698)	937 (236)	2.99
	総合計	4067 (1121)	4016 (1105)	1753 (504)	2.29

※ A O入試はトップアスリート A O入試、各学科 A O入試、併設校 A O入試を含む
※ 推薦入試は推薦入試 (I 期)、推薦入試 (II 期) を含む
※ 一般入試は一般入試 (A 方式)、一般入試 (B 方式)、帰国子女特別選抜、リカレント入試 (I 期・II 期) を含む

■大学院体育科学研究科

区 分	博士前期課程		
	志願者数	受験者数	合格者数
スポーツ文化・社会科学系	5 (2)	5 (2)	4 (2)
トレーニング科学系	12 (5)	12 (5)	9 (4)
健康科学・スポーツ医科学系	5 (1)	5 (1)	4 (1)
コーチング学系	22 (5)	22 (5)	12 (3)
スポーツ教育・健康教育学系	9 (1)	9 (1)	7 (1)
合 計	53 (14)	53 (14)	36 (11)

■短大／体育科・幼児教育保育科

区 分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
体育科	A O	40	24	1.67
	推薦	86	84	1.02
	一般	190	128	1.47
	合 計	316	236	1.33
幼児教育保育科	A O	35	30	1.13
	推薦	31	19	1.63
	一般	11	8	1.25
	合 計	77	57	1.32
合 計	A O	75	54	1.37
	推薦	117	103	1.14
	一般	201	136	1.46
	合 計	393	293	1.33

※ 帰国子女特別選抜は一般入試に含む

■体育専攻科

志願者数	受験者数	合格者数
6 (1)	6 (1)	6 (1)

■編入学

区 分	志願者数	受験者数	合格者数
I 期	104 (104)	104 (104)	97 (97)
II 期	16 (15)	16 (15)	3 (2)

■短期大学部 専攻科保育専攻

志願者数	受験者数	合格者数
43	43	42

区 分	博士後期課程		
	志願者数	受験者数	合格者数
スポーツ文化・社会科学系	3 (0)	3 (0)	3 (0)
トレーニング科学系	3 (1)	3 (1)	3 (1)
健康科学・スポーツ医科学系	2 (1)	2 (1)	2 (1)
合 計	8 (2)	8 (2)	8 (2)



■平成24年度 学年暦

	月 日(曜日)	行 事
平成 24年 2012	3(火)	入学式
	4(水)～10(火)	新入生オリエンテーション (履修申告、学生証手続、健康診断、スポーツテスト他) 在学生オリエンテーション(健康診断他)
	4	前学期授業開始(学部・短大) 看護実習(健康学科健康教育専攻4年) 通常授業(昭和の日振替休日)
	11(水) 中旬 30(月)	介護等体験(特別支援学校) [3月末まで] (健康、社会体育学科2年、体育、武道学科3年) 教育実習(短大:体育科) 教育実習(学部4年)
5	初旬	介護等体験(特別支援学校) [3月末まで] (健康、社会体育学科2年、体育、武道学科3年)
	中旬 下旬	教育実習(短大:体育科) 教育実習(学部4年)
6	4(月)～22(金)	教育実習2(幼児教育保育科2年)
	下旬	相談援助実習(健康学科福祉支援専攻4年) [9月下旬まで]
7	1(日)～14(土)	海浜実習 学部1年:参加する団以外は通常授業 2～4年:通常授業 海浜実習 短大体育科1年:参加する団以外は通常授業 2年:通常授業 初年次教育Ⅱ(体験学習) 通常授業(海の日)
	7(土)～9(月)	水泳指導実習:日赤水上安全法コース(体育学科2年)
	16(月)	介護等体験(社会福祉施設) [3月末まで] (健康、社会体育学科2年、体育、武道学科3年、短大:体育科1年)
	21(土)、28(土)～30(月)	前学期授業終了(学部・短大:体育科)
	下旬	ゴルフ理論・実習(社会体育学科3年)
	27(金)	前学期授業終了(短大:幼児教育保育科)
	30(月)～8/2(木)	補講、追・再試験期間(学部・短大:体育科)
	31(火)	補講、追・再試験期間(学部・短大:体育科)
	31(火)～8/9(木)	補講、追・再試験期間(学部・短大:体育科)
	1(水)～9(木)	補講、追・再試験期間(学部・短大:幼児教育保育科)
8	10(金)～	夏季休業 [9/23(日)まで] (学部・短大)
	10(金)～20(月)	キャンプ指導実習(体育、武道学科2年、短大:体育科1、2年)
	上旬	キャンプ実習(短大:体育科1、2年)
	中旬	マリンスポーツ理論・実習(社会体育学科2年)
	26(日)～9/8(土)	社会教育実習(社会体育学科3年) [9月下旬まで] 看護臨床実習(健康学科健康教育専攻3年) キャンプ理論・実習(社会体育学科2年)
9	5(水)～17(月)	スポーツ現場実習
	11(火)～21(金)	水泳指導実習:ダイビングコース(体育学科2年)
	14(金)～21(金)	マリンスポーツ理論・実習(社会体育学科2年)
	20(木)	ゴルフ指導実習(体育学科3年)
	24(月)	開学記念日
10	24(月)	後学期授業開始
	24(月)～10/5(金)	ホームルーム期間
11	8(月)	通常授業(体育の日)
	1(木)～4(日)	日体フェスティバル期間
12	5(月)～16(金)	教育実習1(短大:幼児教育保育科)
	23(金)	通常授業(勤労感謝の日)
12	12月上旬及び1月の土日予定	伝統芸能実習Ⅰ(武道学科2年)
	24(月)	通常授業(天皇誕生日振替休日)、12月授業終了
	25(火)～	冬季休業 [1/6(日)まで]
	下旬予定 下旬予定	比較舞踊学実習(武道学科3年) スキー理論・実習(社会体育学科2年)
平成 25年 2013	10(木)	1月授業開始
	25(金)	後学期授業終了
	28(月)～	補講、追・再試験期間 [28(月)～30(水)、2/5(火)～8(金)]
	中旬 中旬予定	伝統文化交流実習・外国語実践実習 スキー指導実習(学部) スキー実習(短大:体育科)
2	10(日)～20(水)	スケート指導実習(学部)
	21(木)～24(日)	スケート実習(短大:体育科)
	25(月)～3/1(金)	スケート理論・実習(社会体育学科2年)
3	10(日)	ホームルーム期間
	卒業式	卒業式
	11(月)～	春季休業 [3/31(日)まで]

注)実習等の期間については、変更することがあります。

【編集後記】チャンスをつくれる人間になりなさい、チャンスをつかめる人間になりなさい。「チャンス」の像がそんな風に語りかけているように見えます。その像がある「東京・世田谷キャンパス」は、キャンパス全面に及ぶ大がかりな再開発工事が終了して、この度、近代的、都市型、高度情報型のキャンパスに生まれ変わりました。スポーツ環境の充実した広大な敷地を有する「横浜・健志台キャンパス」とも連携し、ますます体育やスポーツの未来をリードするに相応しい装いです。4月は進級・入学や就職・異動など、新生活がスタートする月でもありますので、心新たにチャンススピリッツを加速させましょう。